



分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●震災対処実働訓練の実施時期

震災対処実働訓練については、より多くの地域住民が参加できるよう、実施時期の変更について検討してもらいたい。

●防災倉庫内等の資機材

定期点検は行われているものの、熊本地震の際には使用できなかった事例があることから、点検の方法に改善を求めたい。



教育市民

●個人番号カードへのマイキーIDの設定

来庁することなくインターネット上での設定も可能であることから、設定方法についてチラシやホームページを活用した分かりやすい広報を求めたい。



●地域コミュニティセンターの指定管理料

平成17年の制度導入時から、一部を除き一律240万円と据え置かれていることから、各施設の運営実態や利用状況の調査を行い、各施設の実情に応じた見直しを求めたい。

厚生

●民生委員の定数について

なり手不足により現行の定数も満たしていないことから、定年制度の見直しを検討するとともに、民生委員を補助する協力員を設置するなど、負担軽減を図ってもらいたい。

●保育料の無償化に伴う副食費の実費徴収

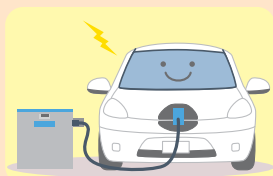
私立保育所のみ新たに徴収業務が発生するが、滞納による副食の提供制限や保育所による費用補填などが起こる恐れがあることから、食事は重要な保育の一環であることに鑑み、私立においても公立と同様に市が徴収すべきである。



環境水道

●電気自動車による避難所への給電

電力供給用の電気自動車は、協定に基づく自動車ディーラー所有のものを予定しているとのことだが、市民が所有する電気自動車についても活用できるよう検討してもらいたい。



●資源物持ち去り防止の取り組み

資源物の持ち去りに歯止めがかからないことから、地域住民と連携した巡回の強化や、買い取り業者に対する指導等を行うなど、持ち去り防止に向け徹底的に取り組んでももらいたい。



経済

●買い物弱者支援事業

今年度は予算化されていないが高齢者等には不可欠な事業であり、事業の復活及び支援内容の充実を求めるとともに、事業実施にあたっては対象者の意見を十分反映してもらいたい。

●熊本産品の地元販売ルート確立を

首都圏等大消費地に向けた販売促進活動に力を入れているが、地元でも身近に購入できるように販売ルートを確立してもらいたい。



都市整備

●生活道路舗装等修繕経費

熊本地震後、粗雑な舗装工事が多々見受けられるので、より丁寧な施工を求める旨、発注時に書面で通知するなど、業者に対する指導を徹底してもらいたい。

●熊本市都市公園条例の一部改正

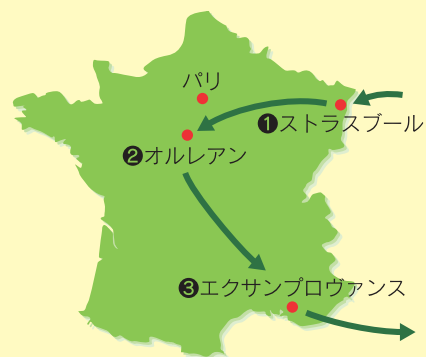
大規模公園等の管理業務について、地域活性化のため、校区自治協議会等への委託を検討してもらいたい。

トピックス

海外（フランス）のまちづくり先進地視察レポート

震災からの復興、少子高齢化・人口減少等様々な課題を踏まえ、熊本市では将来の都市づくりを創造するために、中心市街地を「歩いて暮らせる上質な生活都市」へと変えていくことを目指しています。その世界的なモデルとなっている都市を、まちづくりに関わる商工会議所の方と合同で視察し、今後のまちづくりの具体的な施策の推進につなげたいと考え、この海外視察が企画されました。視察先は昨年10月に開催された第6回日仏自治体交流会議における成果を踏まえ、以下のフランス3都市が選ばれております。

本視察には、市議会から倉重徹議長をはじめ、寺本義勝議員、小佐井賀瑞宜議員、光永邦保議員、福永洋一議員、井本正広議員の計6名が参加しました。広報委員である小佐井副委員長、光永委員が現地の様子をご報告します。



①ストラスブール市



ストラスブール市を表敬訪問し、ラフィク＝エルムリニ副市長より大変心温まるメッセージをいただきました。



ストラスブール中心街は車両侵入禁止。交通の主役は路面電車（トラム）と自転車です。トラム用の線路と歩道が一体となっています。

②オルレアン市



オルレアン市では、路面電車の停留所のまわりをバスが周回するようになっており、電停がそのままバス停として使用されています。また、景観を守るために架線をなくして給電用レールを使用している所があります。

③エクサンプロヴァンス市

エクサンプロヴァンス市では、丘陵を平地化して魅力ある広場や道路をつくり、地下には5,700台を収容する駐車場を整備しています。

